

日本赤十字社神奈川県支部に「救援車両」贈呈に伴う

感謝状の受贈について

神奈川県遊技場協同組合（理事長：伊坂重憲）と神奈川県福祉事業協会（会長：伊坂重憲）は、日本赤十字社神奈川県支部に対して、協会発足当初から継続して支援を行っています。

今年度は、災害救護活動等に使用する救援車両2台（横浜みなと赤十字病院・秦野赤十字病院）の整備を支援しました。

これに対し、日本赤十字社社長から、感謝状をいただきました。

1. 日時	令和3年11月15日（月）
2. 場所	神奈川県庁 3階応接室
3. 感謝状贈呈者	日本赤十字社社長
4. 受贈者	神奈川県遊技場協同組合・神奈川県福祉事業協会

5. 概要

神奈川県遊技場協同組合と神奈川県福祉事業協会は、昭和60年の協会設立以来、様々な社会貢献活動を実施してまいりましたが、日本赤十字社神奈川県支部に対しては、協会発足当初から継続して支援を行っており、これまで血液運搬車や医療器具などを助成してきました。

東日本大震災以後は、災害時対応の通信指令車、器材搬送車両、救急車など、災害現場で活用する車両をはじめ、被災者に配布する援護物資の整備、更に昨年は、災害時に医師や看護師ら医療スタッフが乗車し、資機材を搭載して災害現場に急行するための救急車1台を支援しました。

今年度は、災害救護活動等に使用する救援車両を横浜市立みなと赤十字病院及び秦野赤十字病院に各1台の整備を支援しました。

これに対し11月15日、神奈川県庁において、日本赤十字社神奈川県支部黒岩祐治支部長から日本赤十字社社長感謝状をいただきました。

